

Super

3

令和4年7月13日
立川市立第三小学校
校長 田村 聡

梅雨は明けたはず…なのになあ

今朝もシトシトと雨が降っています。梅雨は明けたといったのに。



校舎内に入るまで、それぞれの学年で待っているあいだ、お気に入りの場所があるようです。見てみると、大体同じ場所にいつも同じ学年・同じメンバーが集まってきているように感じます。

友達同士で登校してきたり、弟・妹と一緒に連れてきたり、この風景は、いつでも・どの地域でも同じです。



でた！2年生がダンゴムシの赤ちゃんを捕まえてきてくれました。「なあ、そこの草原に大きなバッタがいるからさ。お願い、バッタにしてよ。」

「校長先生、見て見て。ほ～らっ」ミニトマト、おいしい余と、教えてくれました。

今日の1, 2時間目は1年生と一緒にひらがなの勉強をしてきました。「ぢ」「じ」や「づ」「ず」の正しい使い方を学んできました。字がとても上手になっていてビックリしました。



中休み、当番の放送委員から「教室の窓を開けて、外で元気よく遊びましょう」と。カサをさして元気よくても、私は気にしませんが、生活指導主任の先生や特に6年の先生は気にするみたいです。すぐに、「雨が降っているので、教室で静かに過ごしましょう」にかわりました。



でも、さすが、かしこい三小の子、築山のトンネルに入って、雨宿りしながら遊ぼうとしているのか。「いやあ、賢いなあ」と感心して職員室から見ていると、すかさず「ほめる『かしこさ』のピントが違います」指導を受けました。



2年生がタブレットを使って学習しています。タイピングがとても上手です。姿勢もよく、カチャカチャ打ち込んでいました。

その一方で3年生は、調べ学習のまとめを模造紙等にまとめていました。



こちらは紙芝居の作成中でしょうか。こうした発表の仕方でもタブレットを活用したプレゼンとは違った味わいがあります。



隣では、挙手をして発言をしていました。姿勢が大変よく、自分の考えと、なぜそう考えるのかといった、理由を整然と述べているのに、驚きました。遊びでも学習でも『かしこさ』暴発…ではなくて爆発の三小です。

私は、校長としてこの第三小学校が4校目ですが、コロナ禍前は、「いつでも、だれでも、どの授業でも」と授業参観をしてもらっていました。わが子が叱られている場面にも出くわしますが、なぜ叱られているのか、その時どうすればよかったのか、次からはどうするのかといった指導の様子が分かったり、様々な授業の様子が見られたりしたものです。残念であり、もったいないです。



外は明るくなってきましたが、まだ雨は降り続けています。下校時もカサをさしているので、交通事故に気を付けるように指導を行っていきます。